



住みやすいまち  
住んでみたくなるまち



# 大多喜町

## 移住ガイドブック



千葉県 大多喜町



# 城と溪谷の町「大多喜」

水と緑に囲まれた豊かな自然とあたたかい人々とのつながり



大多喜町シンボルキャラクター  
おたっきー

房総半島のほぼ中央に位置する千葉県大多喜町は、大多喜城の城下町として長い歴史と伝統を持ち、関東一遅い紅葉として知られる養老溪谷をはじめ豊かな自然に囲まれた内陸の町です。

本ガイドブックでは、既に大多喜町へ移住し生活されている「移住先輩」の方々の貴重な経験や町の各種移住支援施策などを紹介していますので、大多喜町への移住を希望される方の参考になれば幸いです。

## 大多喜町基本情報

気候: 年間平均気温は15℃前後、冬季は降雪がある年もあります。

地形: 森林が総面積の約70%を占めています。

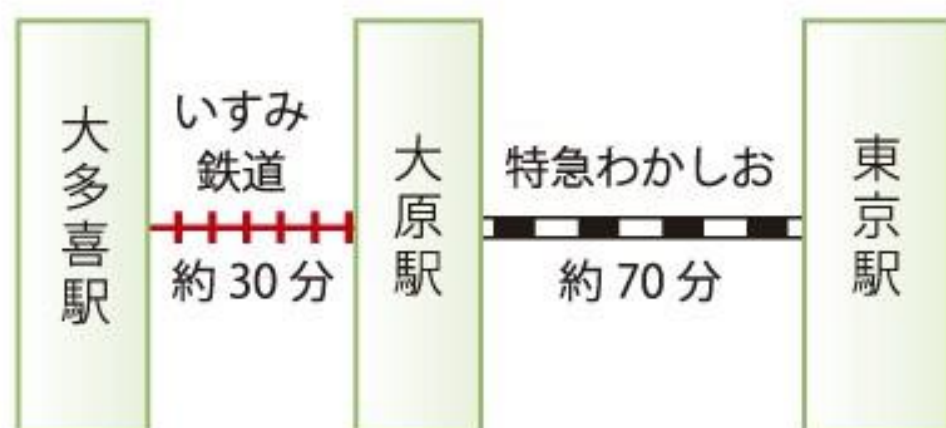
海拔: 26.4m(役場所在地)



大多喜城の城下町として栄えた歴史のある町

## 【都心までのアクセス方法】

### ■ 電車をご利用の場合



### ■ 高速バスをご利用の場合



バスターミナル東京八重洲



### ■ お車をご利用の場合

- ・アクアラインご利用  
東京湾アクアライン経由: 圏央道「市原鶴舞IC」から約12km
- ・千葉方面より  
館山自動車道経由: 館山自動車道「市原IC」から約33km

※目標地点は、各ICから大多喜町役場(大多喜町大多喜93)までで計測しています。

東京線高速バス通学費補助制度があります。  
詳しくは、大多喜町ホームページで紹介しています。





体を動かして汗を流して仕事が出来るといのは、  
本当に毎日幸せ

Q: 大多喜町を移住地として選ばれた理由は？

A: 農業をしながら田舎暮らしをしたいと思ったのが  
移住のきっかけでした。  
大多喜の家と田畑を紹介していただき初めて見学  
に来た時にすぐに「ここは素晴らしい」と思い、その  
日のうちに決めました。まあ一目ぼれです。



Q: 移住前と移住後と大きく変わった点は？

A: マンション暮らしと比べて、敷地も広く近所との距  
離も離れている田舎では、ご近所さんに子供の騒ぐ  
声を気にすることもないので、伸び伸びと子育てが  
できています。

Q: 移住を考えている方々へのアドバイス

A: まずこの大多喜町に来てもらって、どういう人た  
ちが暮らしているのかとか、環境はどうだとか、そ  
ういう雑誌やインターネット上の情報だけでは感じ  
ることができないものが沢山あるので、自分の目で  
見て、聞いて欲しいと思います。

Q: 移住をして良かったことは？

A: 外で働きたいと思っていたので、お日様の光や風の  
音を感じながら、体を動かして汗を流して仕事が出



来るといのは、  
本当に毎日幸せ  
だなと実感してい  
ます。

【プロフィール】

名前: 山野邊さん

年齢: 30代

家族: 妻、子供

移住暦: 4年

職業: 百姓、菓子製造



Q: 移住にあたり不安だったことは？

A: 田舎へ移住した人の失敗談なども聞いていたので  
移住先での人付き合いなど不安はありましたが、実  
際に大多喜町に来てみると地域の方々が温かく迎  
え入れてくれて安心して生活できています。

都会ではあいさつ程度の近所付き合いでしたが、こ

こではあいさつだ  
けでなく、保育園や  
学校など子供のこ  
ともいろいろと教  
えてくれてとても助  
かっています。



こだわるから美味しい ————— 農業編

“肥料を入れない方が美味しいと感じる”山野邊さ  
んの野菜作りのモットーだ。

収穫した野菜は、古民家に隣接する納屋を改修し  
た加工所で奥さんがクッキーなどを焼く材料とな  
る。

国産お粉とオーガ  
ニック素材を中心

に作られるクッキーは、奥さんの感性による独自の  
レシピによるものだ。きび糖や黒糖などの身体に  
やさしい甘みをひかえめに使い、素材の美味しさが  
伝わってくる癖になる味だ。



今日も山野邊さんの  
敷地には、クッキーの  
甘い香りと元気な子  
供の音が響いている。



## 都会での生活をスイッチオフにして

### Q: 大多喜町を移住地として選ばれた理由は？

A: 移住をしようと1年くらいかけて千葉県内を探していたところ、初めて立ち寄った大多喜町の風景にピンときて「ああここかな」と思ったんです。



### Q: 移住にあたり不安だったことは？

A: 移住してみるまでは、食料品などの調達が不安でしたし、ある程度それを覚悟してきたのですが、天然酵母のパン屋が出来たり、チーズを作っている方がいたり、各分野の職人がいて、逆に都会では中々手に入らない食料を手に入れることができています。

### Q: 移住を考えている方々へのアドバイス

A: 環境や収入など都会との比較ではなく、都会での生活のスイッチをオフにして全て受け入れるつもりで  
まったく別の世界に来たと思って見て欲しいです  
ね。 そうすると都会での便利さを差し引いても田舎の素晴らしさで十分補え楽しめるはずです。



### 【プロフィール】

名前: 水野さん  
年齢: 50代  
家族: 妻、子供  
移住暦: 9年半  
職業: カフェ経営



### Q: 移住前と移住後と大きく変わったと実感することは？

A: 物価が安いのもあるのですが野菜やお米を近所の方が分けてくれたりするので、生活費はトータルでみると移住する前よりも安いですね。また都会では感じられない四季を感じることができるというのが一番こちらへ来たって実感することですね。



### 古民家×珈琲×スイッチオフ —— カフェ編

住居の古民家に隣接する納屋をカフェに改修した店内には世界中から取り寄せたコーヒー豆が並んでいる。納得のいくコーヒー豆だけ仕入れてくるため、店内に並ぶコーヒー豆はどれも普段では手に入らないものばかりだ。

仕入れたコーヒー豆は、古民家の一室にある焙煎用の部屋で、水野さんの五感を頼りに挽かれている。大多喜の自然とコーヒーが融合する瞬間。



敷地内には豆を挽くカラカラと乾いた音とコーヒーの香りに包まれている。



## 都内通勤圏としての大多喜町

### Q: 大多喜町を移住地として選ばれた理由は？

A:かねてから自然の中で子育てをしたいと考えており、古い公立の図書館などもあり歴史のある町と本の仕事をしている自分とのインスピレーションが合ったことから大多喜町に移住を決めました。



### Q: 都内までの通勤方法は？

A:朝6時20分に自宅を出て、自転車で高速バスの停留所まで約15分、高速バスに乗り約80分で東京駅八重洲口に到着します、そこから地下鉄で都内の会社に着くのはだいたい9時前ですから、通勤時間はおよそ2時間半ですね。高速バスは必ず座れるのでバスの中の80分は本を読んだり、仕事をしたり、寝たりとプライベートスペースのような感じですよ。結構没頭して読書をすることも出来ます。満員電車と違い座って通勤できるので1時間以上の通勤もストレスはありません。都内通勤圏としての大多喜町というのが、もっとこれから注目されて良いのではないかと考えています。



### Q: 移住を考えている方々へのアドバイス

A:まずは一度来て見てもらうことが一番ですね。できれば平日の日中とかに車で通りながら見るのではなく、自分の足で歩いて地域の人たちの生活を見て感じて欲しいです。

### 【プロフィール】

名前:片田さん

年齢:40代

家族:妻、子供

移住暦:1年

職業:出版関係

(高速バスで都内に通勤)



### Q: 大多喜町の育児環境は？

A:東京では「公園で遊ぶ」ということが子どもにとってみれば日常ですが、こちらでは遊べるスペースは「公園だけ」ではありません。自然の中で遊び育まれる環境だと思います。



### 都内の仕事と田舎でのプライベート

二つの拠点編

東京と大多喜、オンとオフがはっきり区別できること。

片田さんの日常は一見せわしないように感じられるが、お話を伺いすると、とても合理的でバランスがとれている。

高速バスの利便性により「移動時間＝ストレス」が「移動時間＝有効活用」になり二つの拠点を結ぶ線になる。

都会だから出来ること、田舎だから得られるもの、そして相互が常に良い影響をしているというのは一つの理想とも言える。

大多喜の魅力や可能性が移住者の方々から発信され注目されてくる、そんなビジョンが見えてきます。



一番は大多喜町の皆さんのお人柄ですね。

Q:大多喜町を移住地として選ばれた理由は？

A:大多喜によく遊びに来るようになってから、何か町おこしに携わりたいと思い、町おこしグループを立ち上げ、その拠点となる現在の店舗兼住宅に通っていたのですが、毎日通うのであれば、もうここに住んでしまった方が良いと思い移住してきました。

Q:移住にあたり不安や苦労したことなどは？

A:不安や不便なことはひとつも無いですね。お買い物に関しても大多喜は山の中なので魚の新鮮さは期待できないかなと思っていましたが、勝浦などからの新鮮で美味しいお魚が手に入り、お米が美味しい、野菜も美味しいですね。



Q:移住してよかったと思うことは？

A:一番は大多喜町の皆さんのお人柄ですね。地方都市はなかなか閉鎖的で、「農村部などは特に他所の人たちを受け入れないよ」なんてことも聞くのですけども、それは全くそうではなくて、ぜひ自分の方から声をかけて近づいていってもらいたいなと思います。

Q:移住を考えている方々へのアドバイス

A:住めば都といいますけれど大多喜は特別素晴らしい都ですから、遠慮なく声をかけてください。解らないことやお困りなことを相談していただけることが移住の成功の秘訣と思っています。



【プロフィール】

名前:中田さん

年齢:60代

家族:夫

移住暦:1年

職業:飲食店経営



大多喜町生まれの食 ————— 町おこし編

400年ほど昔、当時大多喜藩であった御宿沖でメキシコの船が遭難。300数10名を領民が救助、時の大多喜城主 本多忠朝 が手厚くもてなしたことから、メキシコと大多喜町は現在でも友好関係にある。

大多喜町の活性化を願う花子倶楽部は、メキシコの国民食タコスに欠かせないサルサ(ソース)に大多喜特産の筍をたっぷり入れ、和テイストの「大多喜サルサ」を完成させた。



花子倶楽部のメンバーでもある町おこしプランナー中田さんは、自身が提案するスモールキッチン計画に基づいた飲食店「大多喜屋」の運営や「大多喜サルサ」の製造・販売、メキシカンサラダ焼きそばでのイベント参加や普及活動に活躍している。





ギャップがあつて大変だったんですけども、  
今となつてはもう心地よい感じですね。

**Q:大多喜町を移住地として選ばれた理由は？**

A:自分でお米を作りたいと思つていたので出身地に  
近い千葉で移住先を探すことにしました。

県内の市町村に移住のことを問い合わせた結果、  
空き家物件の資料を郵送してくれたり町への対応  
が非常に親切であつたため大多喜に移住するこ  
とを決めました。

**Q:日常のライフスタイルは？**

A:会社に行くことは年に1回程度で自宅でパソコン  
を使い仕事をしています。今は町内全域に光ケー  
ブルが整備され仕事はかなりしやすくなりました。夏  
の暑い日などは町の図書館に行き仕事をすること  
もあります。

普段は朝から夕方まで自宅で仕事をしていますが、  
稲刈りの時期は1日農業を行っている日もありま  
す。また、地域の付き合いとしては草刈りなどいろ  
いろあります。特徴的なものとしては、地域文化の  
伝承として子供たち  
にお囃子を教えたり  
もしています。



**Q:移住を考えている方々へのアドバイス**

A:のんびりしたいなと考へて移住してしまうと現実と  
のギャップがあるかもしれないので、やっぱり何か  
田舎でやりたいなと思つて来た方が良くないかな  
と思ひます。

農村部ですと近所付き合いとか集落の付き合いと  
かも結構あります。こちらに来た当初は結構これ  
がショックというかギャップがあつて大変だったん  
ですけども、今となつてはもう心地よい感じですね。



**【プロフィール】**

名前:阪本さん

年齢:50代

家族:妻、子供(4人)

移住歴:12年

職業:翻訳業

(通勤せずに自宅で仕事を  
しながら就農)



**都内とはインターネット、  
大多喜では田んぼ**

農業編

大多喜町に住みインターネットで仕事をし、好きな  
農業や林業などを本気でやる。そんな生き方を実  
践している人がいた。

稲作に必要なコンバインやトラクターは近所の方  
が使っていたものを酒2升で譲ってもらった。

農薬をほとんど使用せずに田んぼを約4反歩  
(4,000㎡)作付している。

「最初の年は自分で作った米でご飯が食べられた  
ということにすごく感動しました。今はそれが当た  
り前の気がしますけれど。」

大好きな田んぼの話になるとパッと表情が明るく  
なり輝いている。

田んぼがやりたくて大多喜町へ移住して12年。

稲刈り機に汗だくで乗り込む阪本さんの表情は真  
剣そのものだ。





## 【住居関係】

### 空き家バンク制度

企画課 ☎0470-82-2165

賃貸や売却として登録されている物件は、庭付きの一軒家が多く、家庭菜園ができる物件もあります。物件の見学を希望される場合は、お気軽にお問い合わせください。



空き家バンク



### 空き家利用促進奨励金

企画課 ☎0470-82-2165

空き家バンクに登録された物件をリフォームした場合



工事費用を最大で100万円補助



### 空き家家財道具等撤去費補助金

企画課 ☎0470-82-2165

空き家バンクに登録された物件の家財道具を撤去した場合



撤去費用を最大で20万円補助



### 住宅取得奨励金

建設課 電話0470-82-2115

町内に新築住宅を取得(建替含む)した場合



最大で100万円を助成 \*H28.4.1~

### 宅地分譲

建設課 電話0470-82-2115

#### 城見ヶ丘団地

都市ガス、上下水道整備済み、保育園、学校、ショッピングセンター、駅、高速バス停留所徒歩圏内  
平均区画面積≒250㎡、平均㎡単価≒3.2万円

(助成制度活用時の実質負担分)

#### 大戸分譲地

平均区画面積≒243㎡、平均㎡1万円

#### 猿稻分譲地

区画面積=313.01㎡、価格=340.8万円(11,000円/㎡)



城見ヶ丘団地



## 【子育て関係】

### ■ 出産祝い金

健康福祉課 ☎0470-82-2168

第1子及び第2子を出産した場合は10万円、  
第3子以降も同額をそれぞれ支給  
大多喜町に移住予定の方に限り、10万円の支給があります。(生後3か月以内に申請)

### ■ 子ども医療費助成制度

健康福祉課 ☎0470-82-2168

高校修了前までの子どもの通院、入院に係る医療費の  
自己負担分を助成します。

### ■ 保育園の概要

教育課 ☎0470-82-3010

生後6ヶ月児～通常保育の他に時間外保育、一時保育、  
休日保育も実施  
2人以上の児童が在園している場合で、2人目の児童が  
3歳～5歳の場合2人目の保育料は無料

### ■ えいご教室

教育課 ☎0470-82-3010

保育園在園の3歳児～小学4年生までを対象にした  
外国人講師によるえいご教室を実施  
幼少期から必須科目となる小学5年生までの間、切れ  
目なく生の英語と触れあえます。



## 【就農・起業関係】

### ■ 農業次世代人材投資事業

農林課 ☎0470-82-2535

50歳未満で農業経営者を目指す方を対象に、年間  
150万円を最長3年間給付



### ■ 起業創業支援事業補助金

商工観光課 ☎82-2176

大多喜町内で起業又は創業しようとする方。  
(今後税務署へ開業届を提出される方)

最大で 75万円を補助





# 大多喜町生活情報

## 教育・医療編

町内には、大多喜町立の保育園が2園、小学校2校、中学校1校があります。このほかにも県立高校1校、私立大学1校とその中等教育学校があります。

また、医療機関については病院が2ヶ所、診療所が3ヶ所あります。

近隣(いすみ市、勝浦市、茂原市、鴨川市、市原市)の総合病院等へは、街中から概ね車で15分～50分の距離にあります。

### 病院・診療所

**1** 大多喜病院  
上原786  
☎0470-82-2714

**2** 小高外科内科  
大多喜62  
☎0470-82-2511

**3** 川崎病院  
泉水674  
☎0470-82-2008

**4** 君塚医院  
弥喜用134  
☎0470-83-0012

### 整形外科

**5** 大多喜整形外科  
猿稻147-5  
☎0470-82-5575

### 歯科

**6** おおたき歯科医院  
船子124-1  
☎0470-82-3411

**7** さとう歯科医院  
新丁99  
☎0470-82-2884

**8** 若菜歯科医院  
大多喜248  
☎0470-82-2918

### 整骨院

**9** 小坂整骨院  
新丁43  
☎0470-82-4021

**10** ちくま整骨院  
大多喜50  
☎0470-82-2301

**11** おおたき鍼灸整骨院  
船子856  
☎0470-62-5539

**12** 嶋野整骨院  
紺屋48  
☎0470-82-5033

### 町外医療機関(総合病院)

いすみ医療センター  
いすみ市刈谷1177  
☎0470-86-2311

外房こどもクリニック  
いすみ市岬町和泉1880-4  
☎0470-80-2622

亀田クリニック  
鴨川市東町1344  
☎04-7099-2211

塩田病院  
勝浦市出水1221  
☎0470-73-1221

### 産婦人科

もりかわ医院  
いすみ市岬町長者177  
☎0470-87-3347

作永産婦人科  
茂原市高師町1-5-5  
☎0475-24-8822

\*町外医療機関は一部の医療機関のみの掲載となっています。

## 買い物・お食事編

国道297号沿いに商業施設が集まっているほか、町内各地に日用品を扱っている商店や古民家を改修したカフェやお蕎麦屋さんなど特色のある飲食店があります。お気に入りのお店を探してみませんか？



大多喜ショッピングセンターオリブ周辺

## 仕事編

町内の主な事業所は、製造業の工場やゴルフ場、観光地である養老溪谷周辺の宿泊施設などがあります。また、町外へは、高速バスを利用した都内への通勤の他に、近隣の市原市や茂原市へ車で通勤したり、茂原駅まで車で行き電車で乗り換えて千葉市方面へ通勤している方もいます。

## 地域付き合い

地域付き合いこそ田舎の醍醐味かもしれません。町内全域で一律ではありませんが代表的なものとして、地域の生活道路や神社、お寺などの草刈りや美化活動に地区の集会や近所の冠婚葬祭、区費(自治会費)や消防費などの負担のほか、若い世代の方については青年会や消防団での活動など、田舎では地域の人達が協力しあい、交流を深めたり自主防災に努めています。

\*上記内容は、代表的な地域の付き合いの一例であり、居住地区により実情は異なります。また、各種活動への参加は強制ではありませんが、地域住民とのコミュニケーションを図ることのできる場にもなりますので、積極的な参加が望まれます。



三育学院が西中学校跡地を活用



町立西小学校



町立つぐみの森保育園



いすみ鉄道



水月寺境内



栗又の滝







大多喜城



町立大多喜小学校



町立大多喜中学校



県立大多喜高校



町立みつば保育園

2 5 6 7  
8 9 10 11  
※大多喜駅周辺下図参照

### 大多喜駅付近拡大図



麻綿原高原



三育学院大学





令和3年度空き家バンクポスターコンテスト  
中高生部門特別賞大場紗里那さん(宮城県)の作品

大多喜町  
空き家バンク  
QRコード



空き家バンクの制度、  
登録物件、補助金等  
ご紹介しています。

大多喜町  
移住定住情報  
QRコード



大多喜暮らし、移住先輩の  
体験談、支援制度など  
ご紹介しています。



大多喜町移住ガイドブック

【移住定住・空き家バンクのお問い合わせ】

大多喜町役場企画課移住促進係

Tel 0470-82-2165

Email [koryu@town.otaki.lg.jp](mailto:koryu@town.otaki.lg.jp)

〒298-0216千葉県大多喜町大多喜93